



人類を見下してる
尊大なふたなり悪女神が
おじさんに惨敗する話



その日、
なんの前触れもなく

彼女は現れた



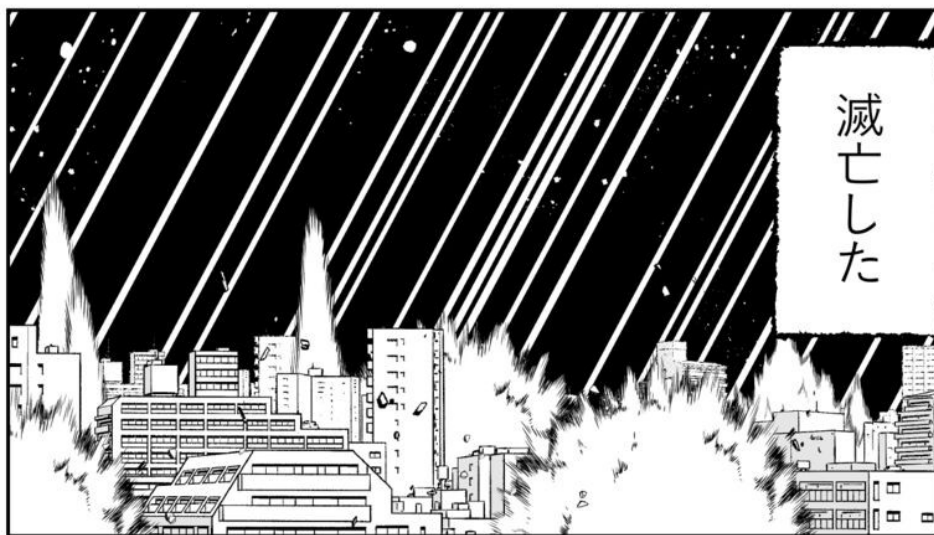
今、終焉は
訪れる

取るに足らぬ
凡愚な生命体共よ

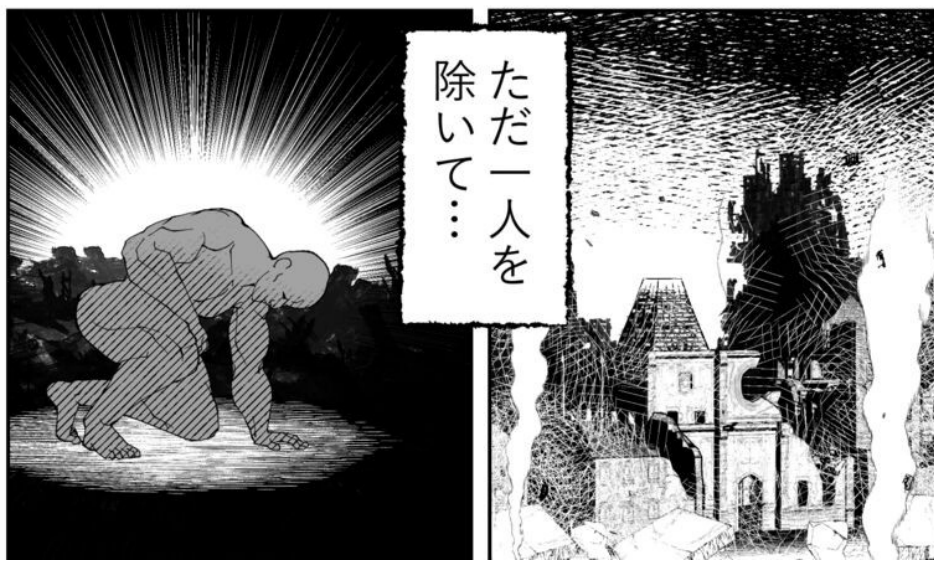
その哀れな
魂を空へと
還すがよい



人類は
粛清の女神
によって



滅亡した



ただ一人を
除いて…



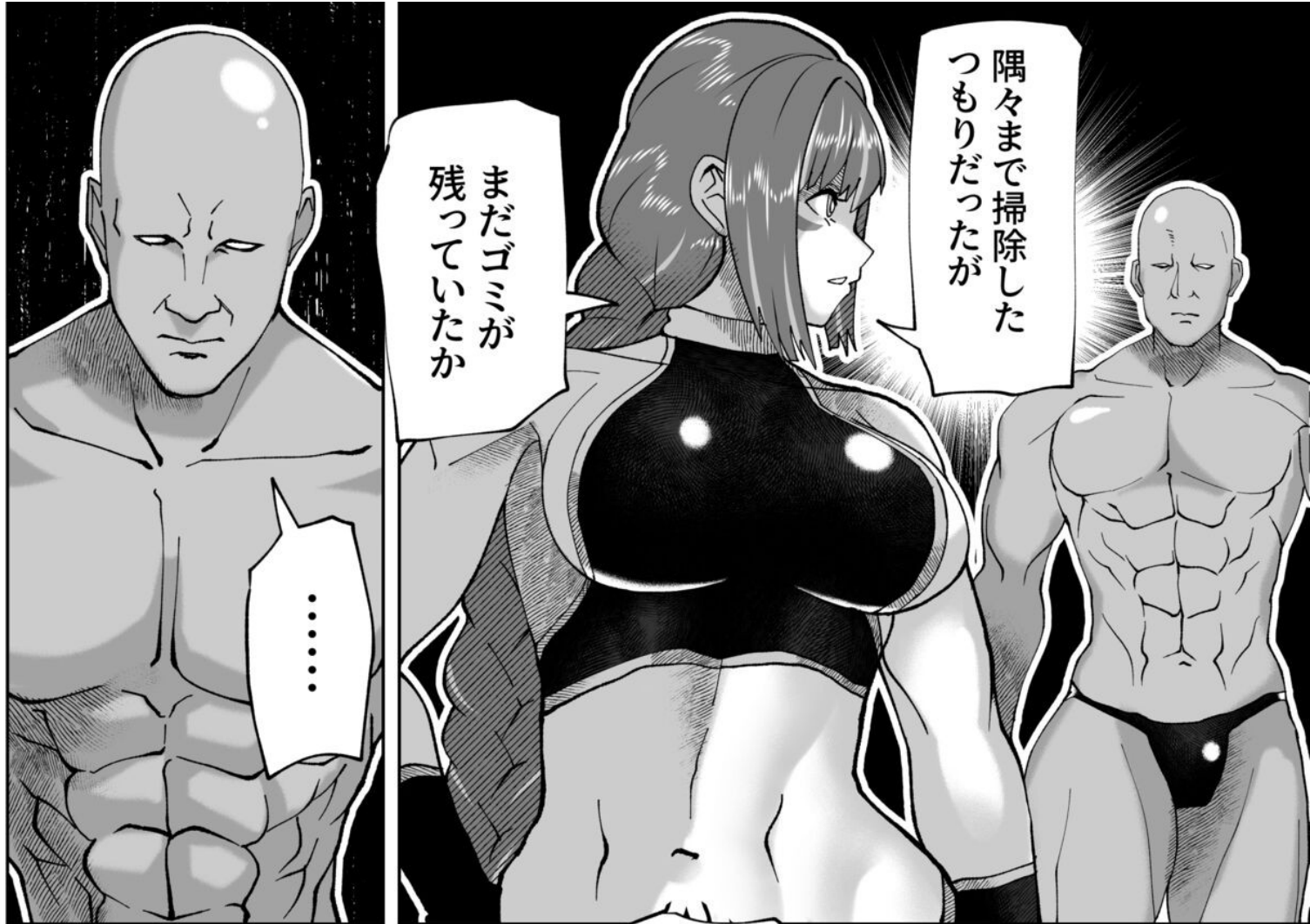


あつけない
ものだな

いくら知恵を身に着け
栄華を極めようとも、
所詮猿は猿

我が力の
一片にも及ばぬ

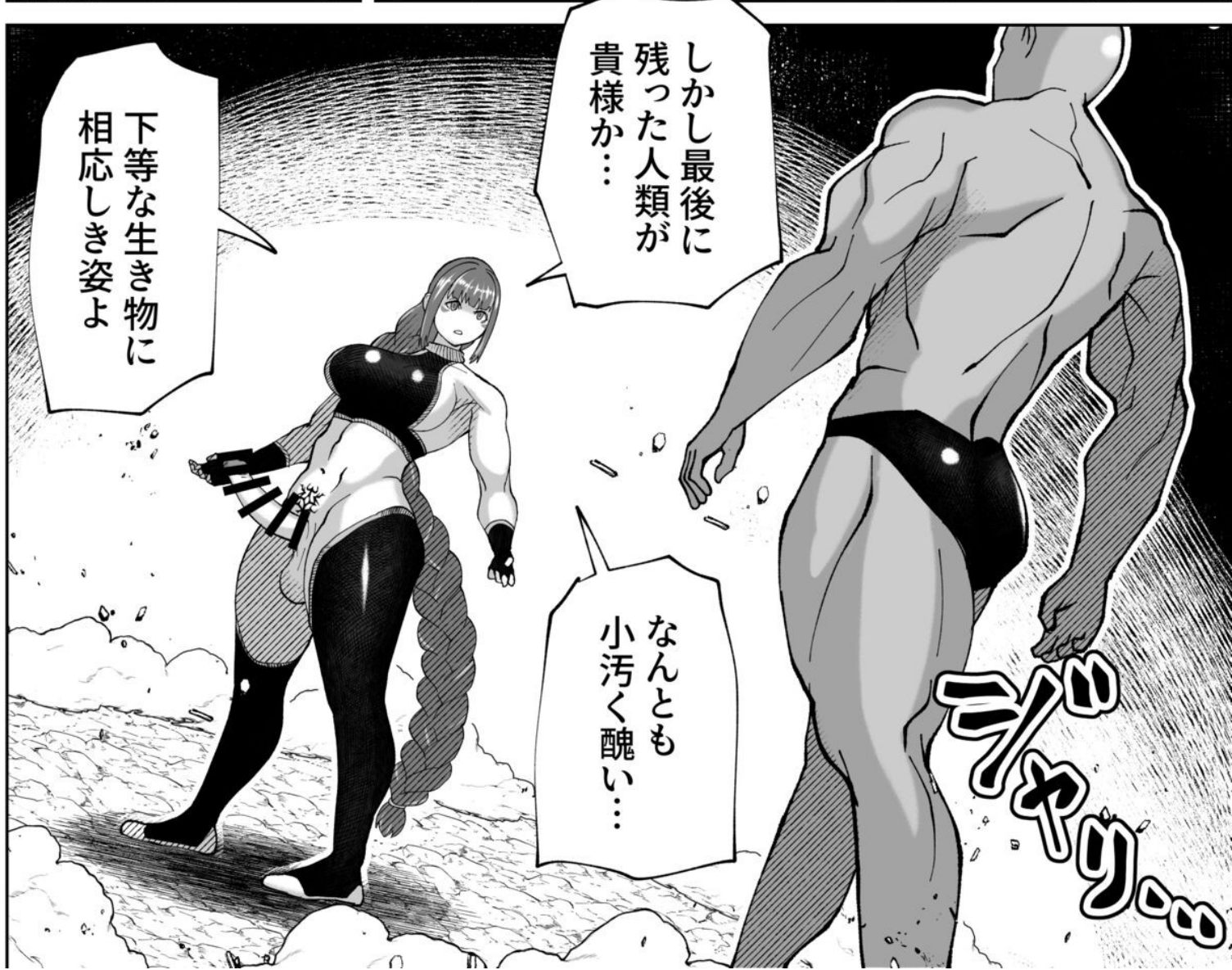
...ほう



隅々まで掃除した
つもりだったが

まだゴミが
残っていたか

.....

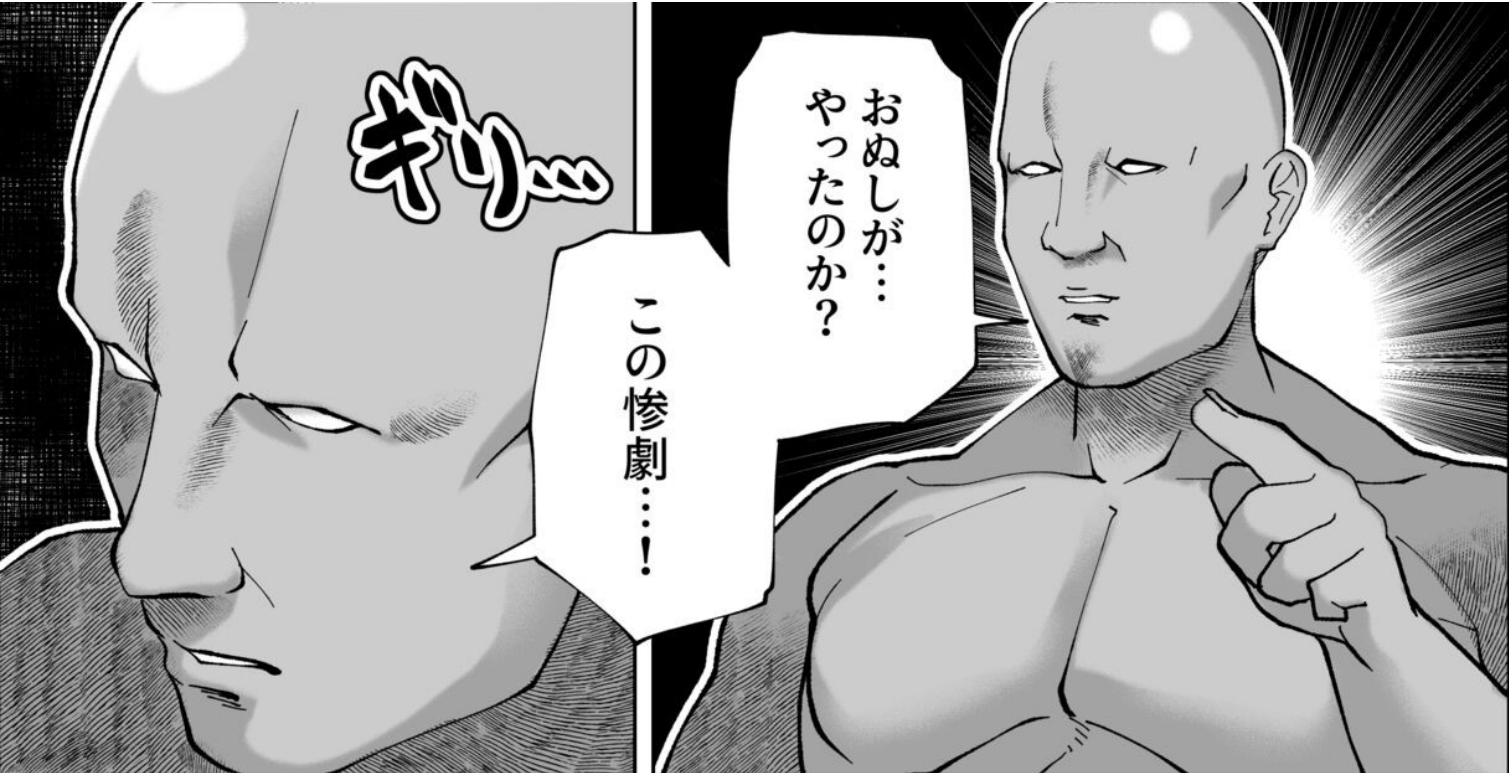


しかし最後に
残った人類が
貴様か...

下等な生き物に
相応しき姿よ

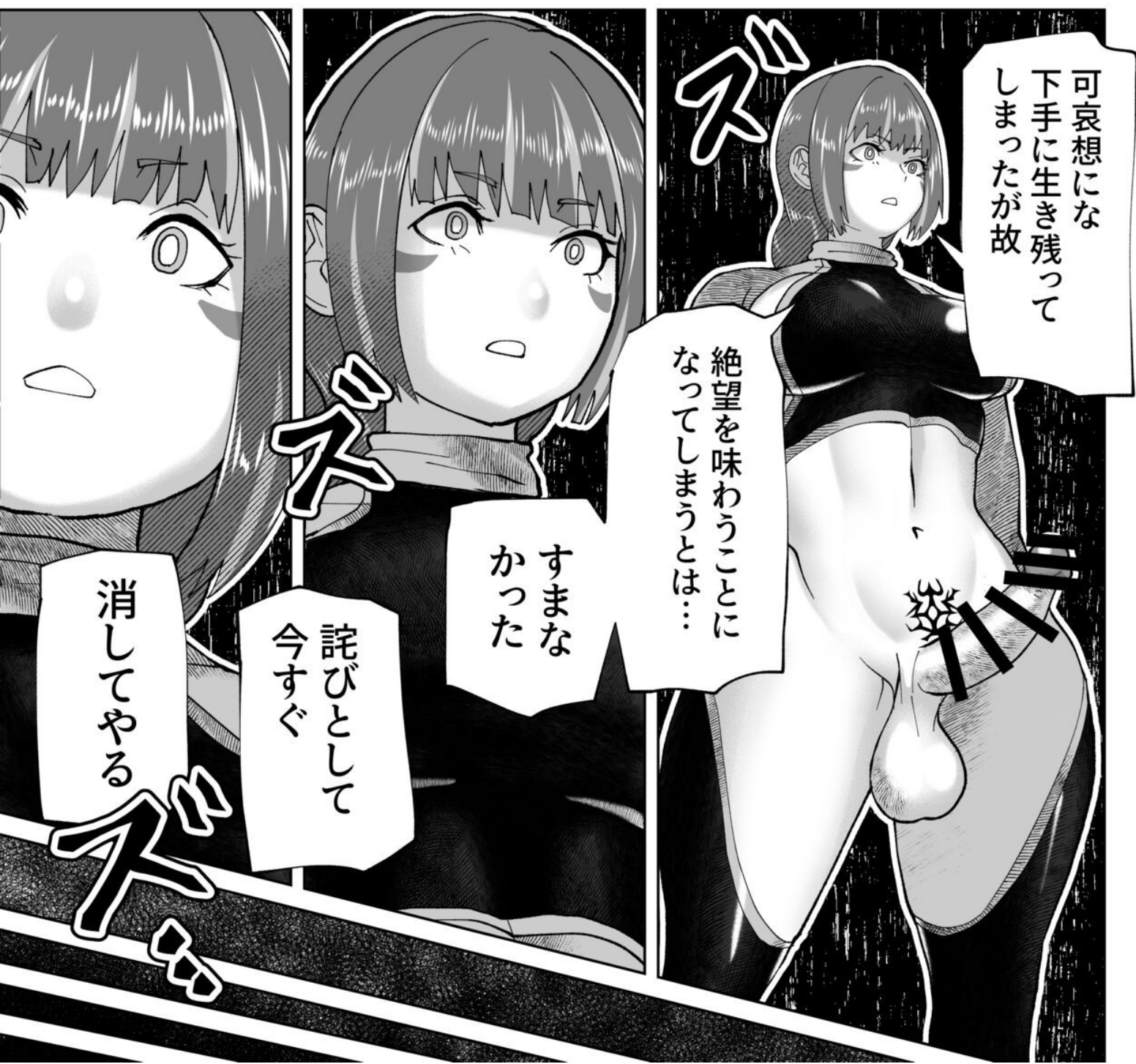
なんとも
小汚く醜い...

ニャー
ニャー



おぬしが…
やったのか？

この惨劇…！！



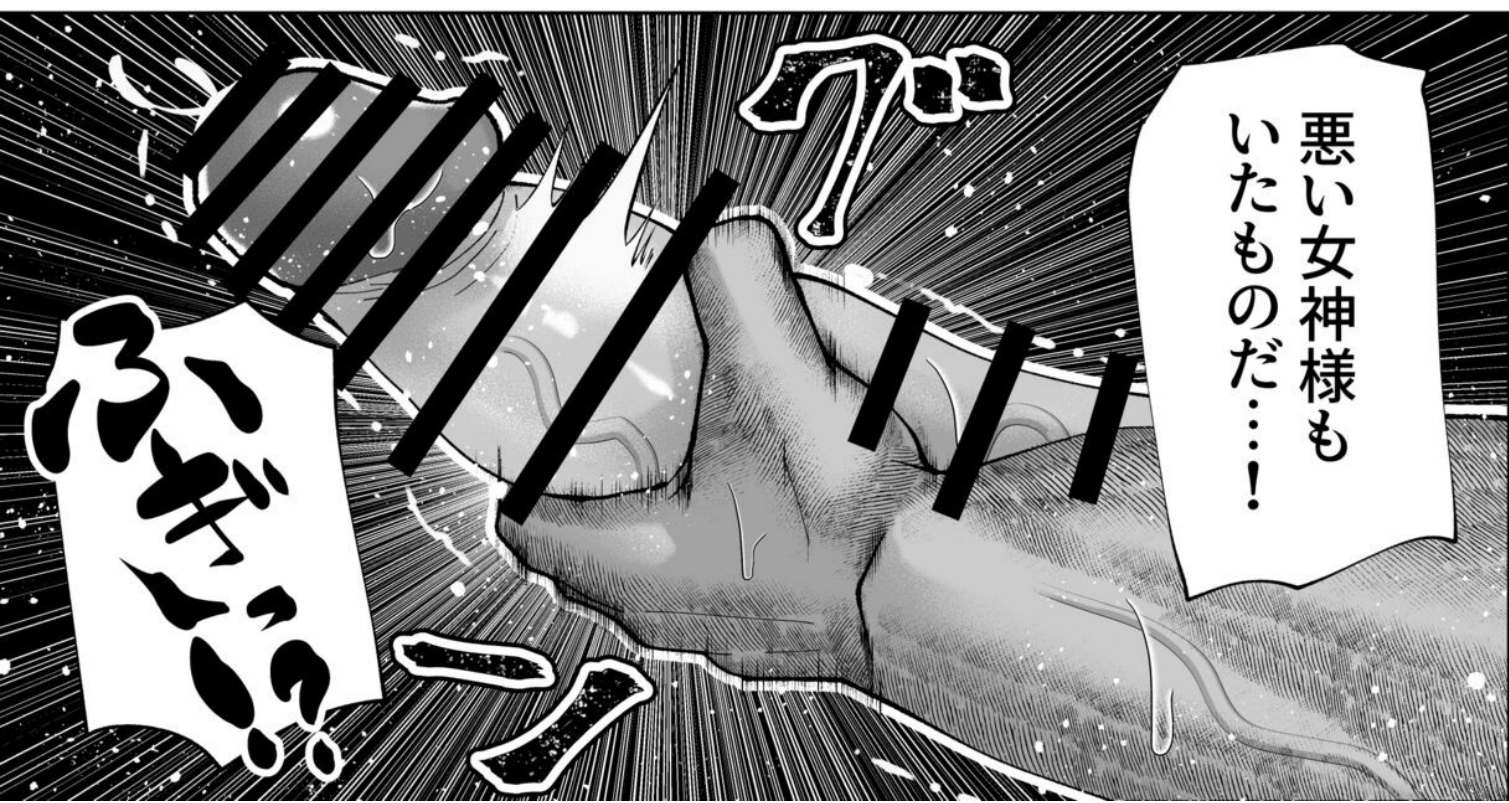
可哀想にな
下手に生き残って
しまったが故

絶望を味わうことにな
ってしまおうとは…

すまな
かった

詫びとして
今すぐ

消してやる



貴様らのような
出来損ないから
魂を回収する…

そのために
肅清を
下したまで…!!

正義は
我にあり…!!

ハッ

ハッ

ハッ

うゝむ…そんな
要領を得ない
話を聞くより

ワシは
女神の射精が
見たいなあ…!!

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ



何という
強烈な射精…！

世界を
滅ぼせた理由が
端的に見えたぞ…

量、濃度、粘度…
どれも凄いな…
臭いも濃い…

知
知

ネトオ

こんなもの
中に出されたら
確実に孕むであろう

世界を滅ぼす
力を持った
見目麗しい
女神の精子が

どこに出しても
恥ずかしく
ない精子…

いやむしろ
恥ずかしい
精子か…

性欲を滾らせた
おっさんの精子と
変わらんのだからな



おっと

ハム

ボム

ム

許さ...



これ以上の
侮辱は...

ア



さすが
女神様の精力

容赦なく
弱点のおちんぽを
責めさせてもらう

あれだけ出したのに
まだまだ余力が
ありそうだな



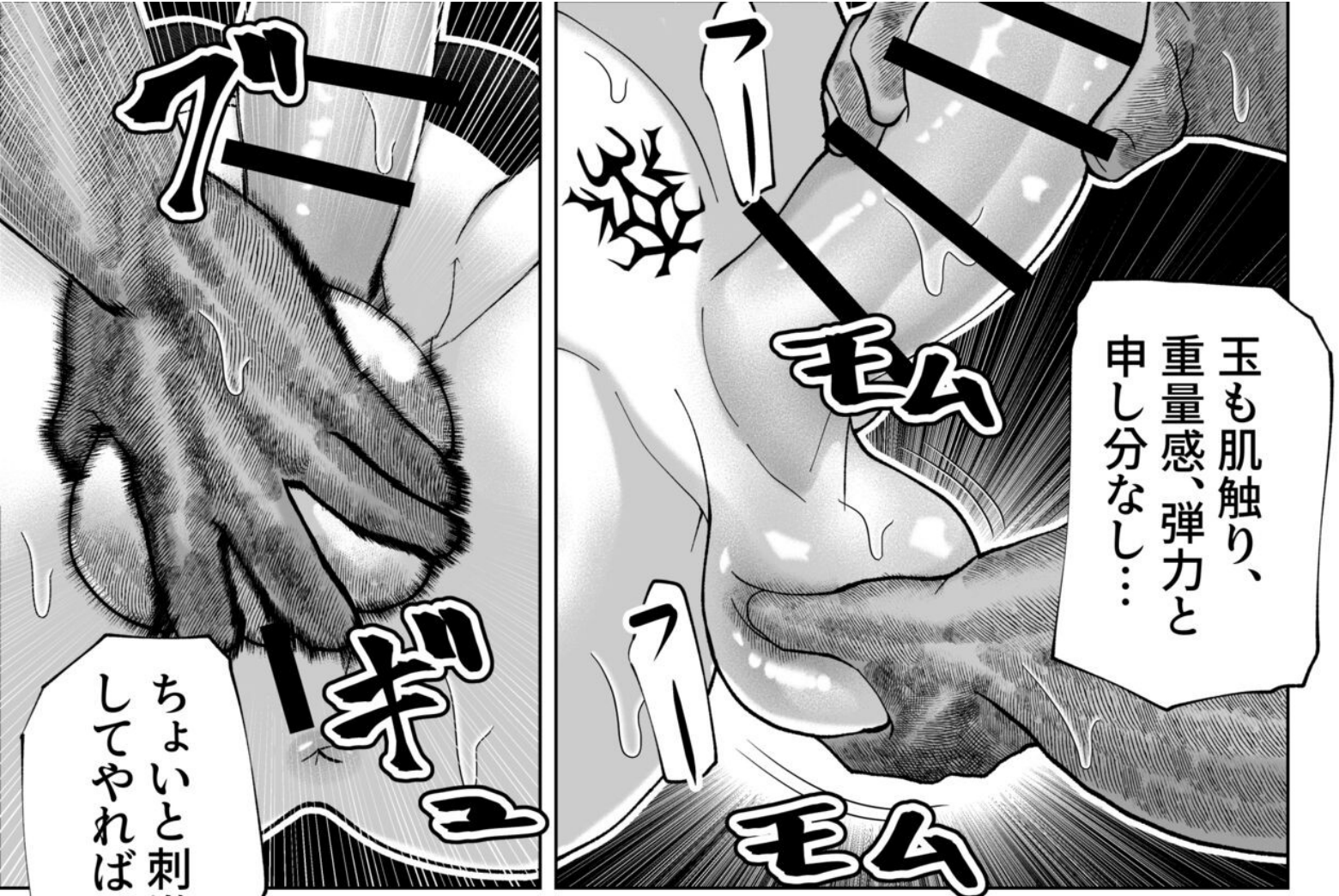
女のちんぽとは
思えん…!!

うむ…
想像通り
濃い味付けだ…



弱い所を
的確に
責めてくる…!!

見た目からは
考えられぬ
繊細な舌使い…!!



本当は人類を
滅亡させる
ことより

己の肉棒を
扱いてる方が
好きなのだろうか？

こんな弱点丸出しの
衣装着おってからに

もしかすると
本当は負けたがって
いたのか？

だっ…





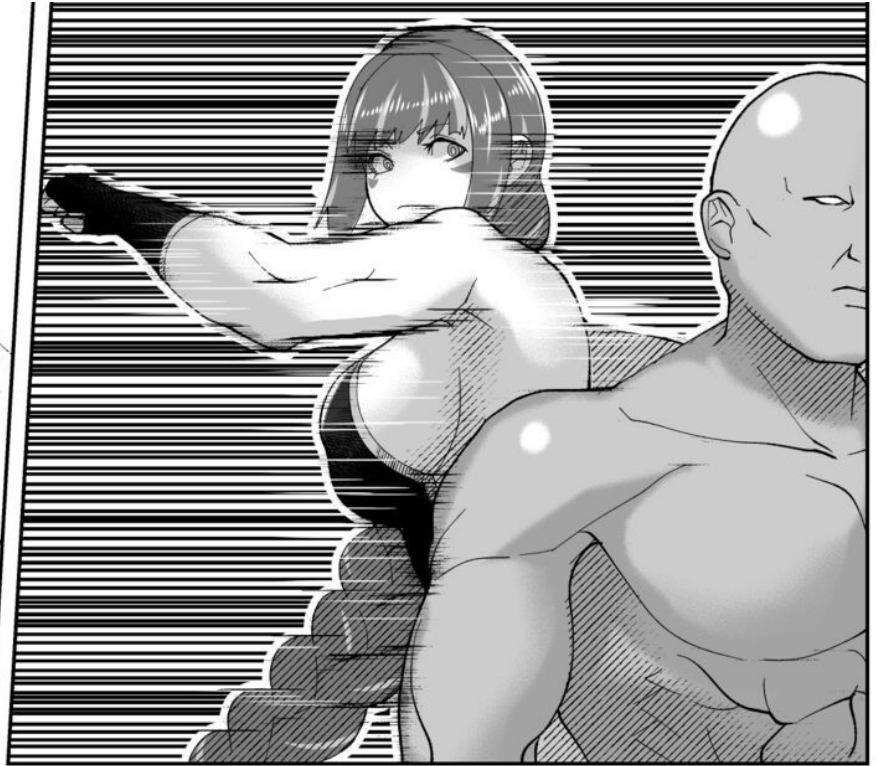
しかしさすがの
女神様も続けざまの
大量射精でおちんぽも
少々お疲れか

ふむ…欲に
任せた腰使い…

女神らしからぬ
振る舞いで

実に
良かったぞ

……



さっきまでアへ顔
晒していた者とは思えんな

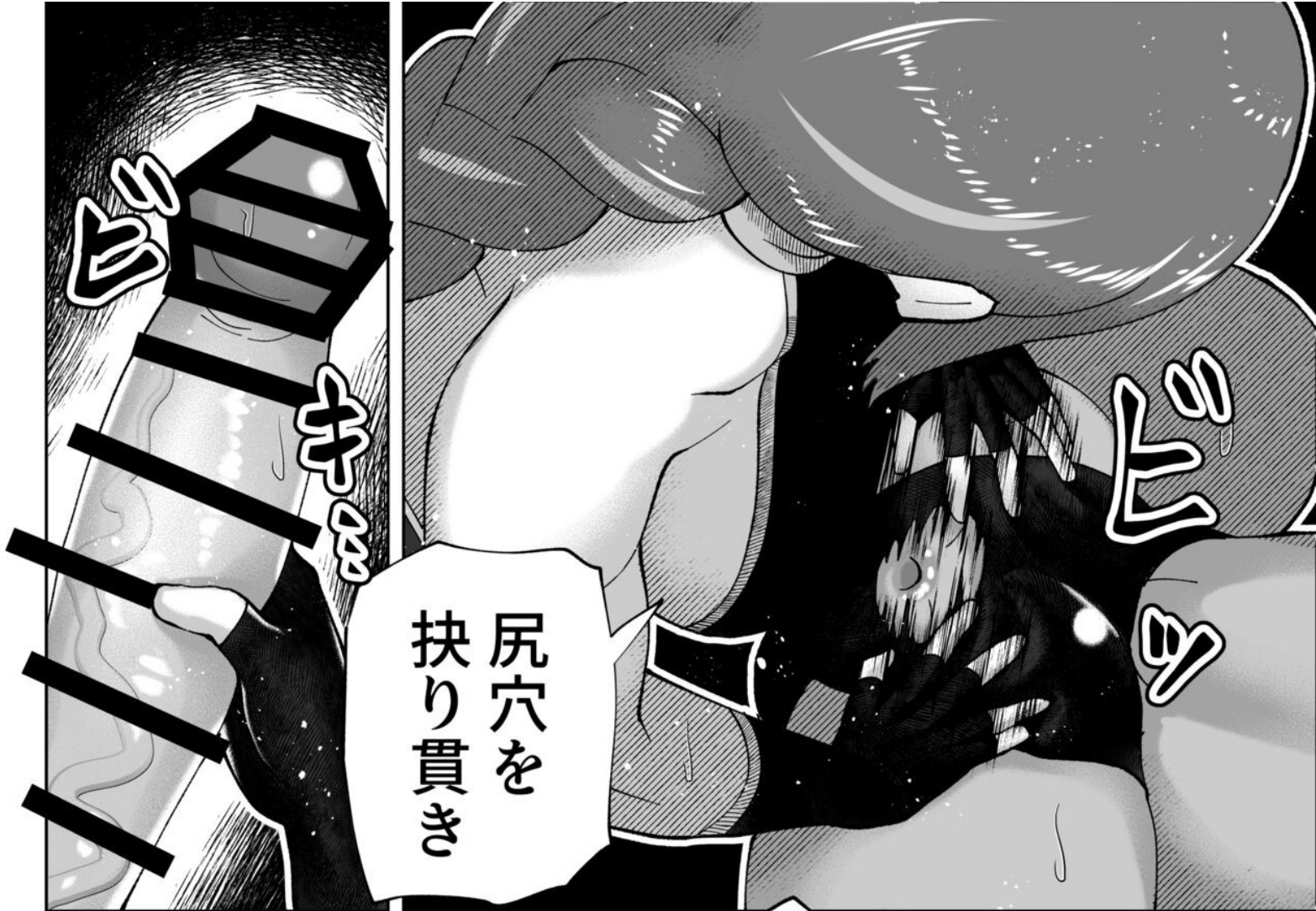


残念だが
ここまでだ…

このまま勝てると
でも思っていたのか？
哀れな奴め



なんとでも
ほざくが良い



尻穴を
挟り貫き

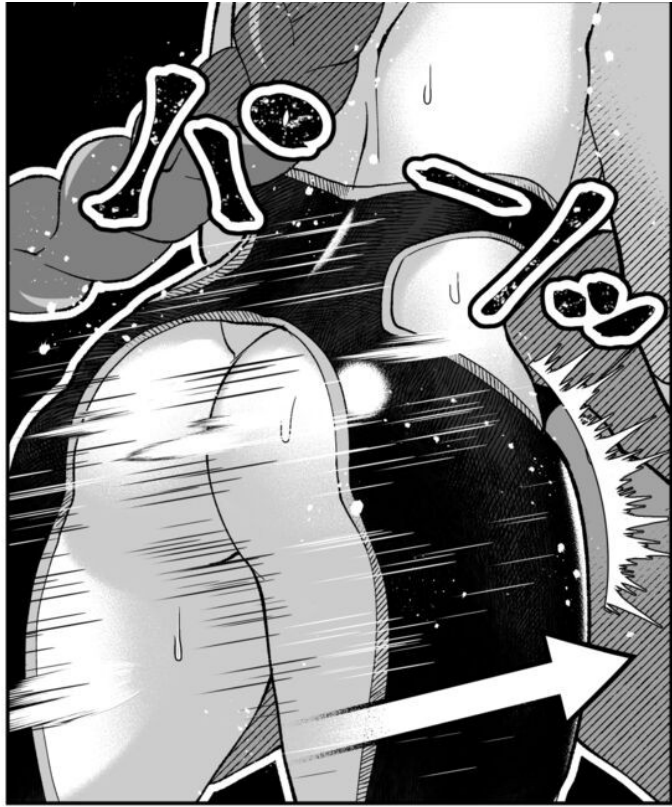


惨たらしく
殺してやる



屈辱を
与えながら







黙…れ
…！

なるほど…
女神様は
早漏でも
あったのか

こんなゴツい
おじさんの
尻でも簡単に
果ててしまうとは…

節操がないにも
程があるぞ



…これ
からだ…！

これから
貴様の尻を
滅茶苦茶に…！

ほう…ちんぽは
堅固なままか…
大したものだ

勝てない…!

ん、お、い

こんなおじさんの
尻で良いなら
好きなだけ種汁を
出して構わんよ

こんな
やつに…!

なぜ…!?

それとも
ただ快感を
貪っているのか?

それにしても
必死に腰を振って…
それはおじさんを
苦しめるつもりで
やってるのか?



ビッ
ッ

また
イッ
ッ

イッ
ッ

ビッ
ッ

ビッ
ッ

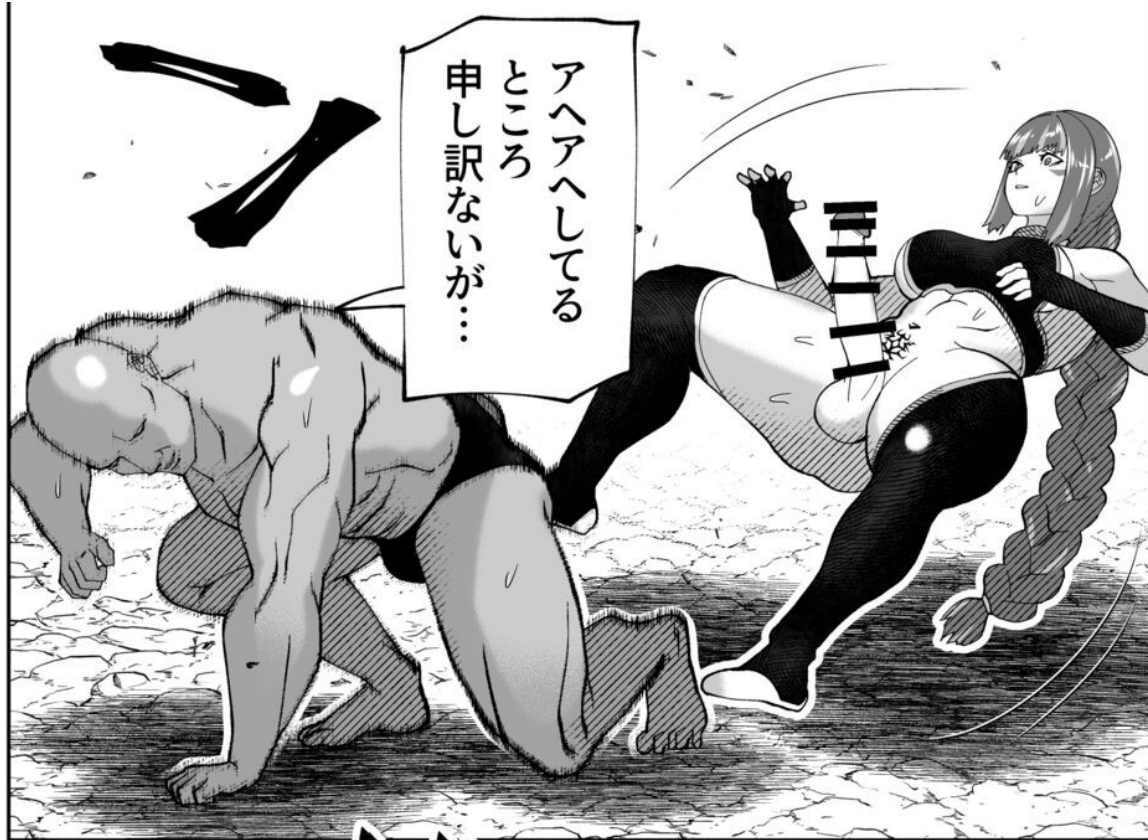
ビッ
ッ

フル

どうやら
後者のようだな

フル

ッ
ッ



アヘアへしてる
ところ
申し訳ないが…



さて…



わかるね？

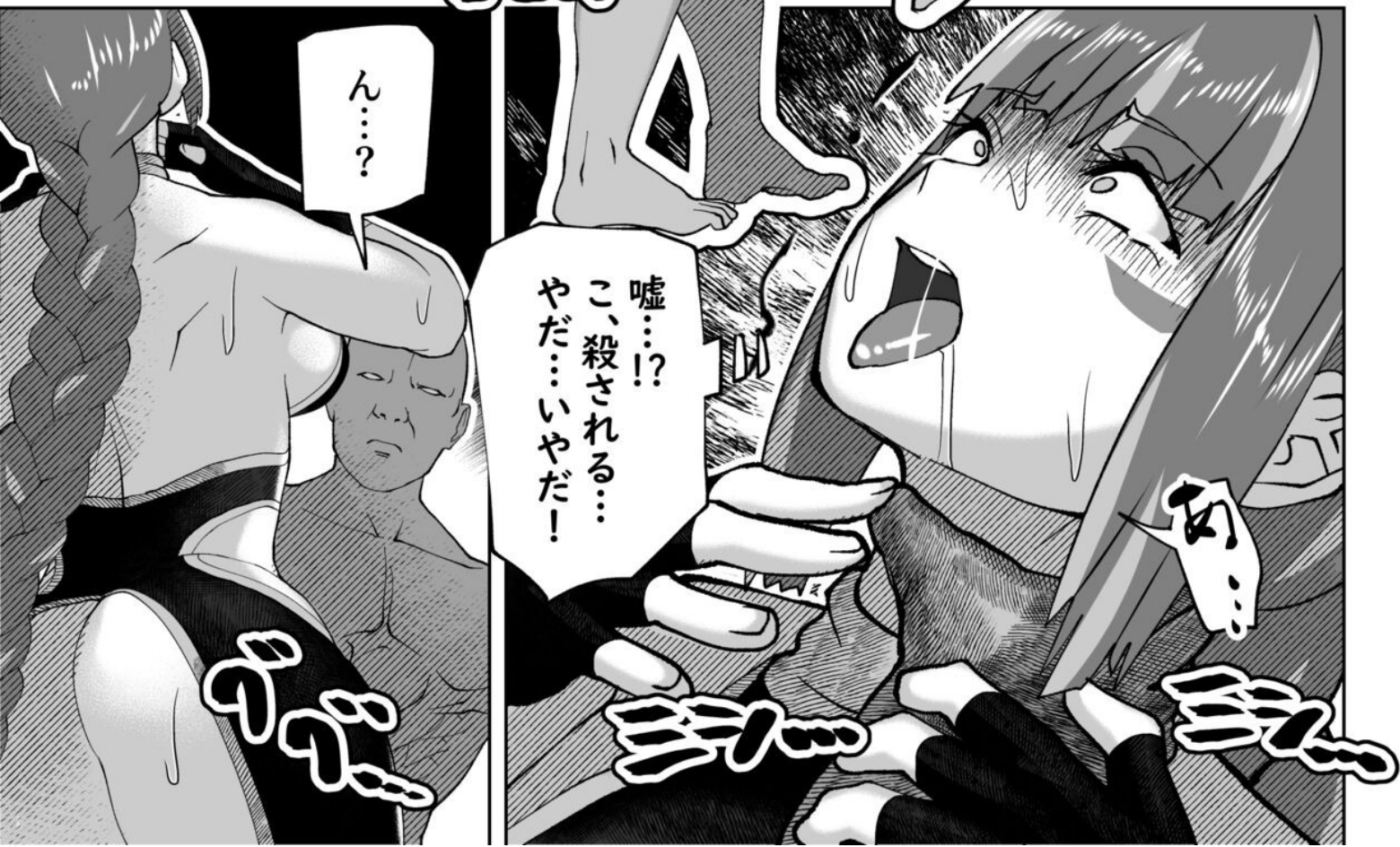


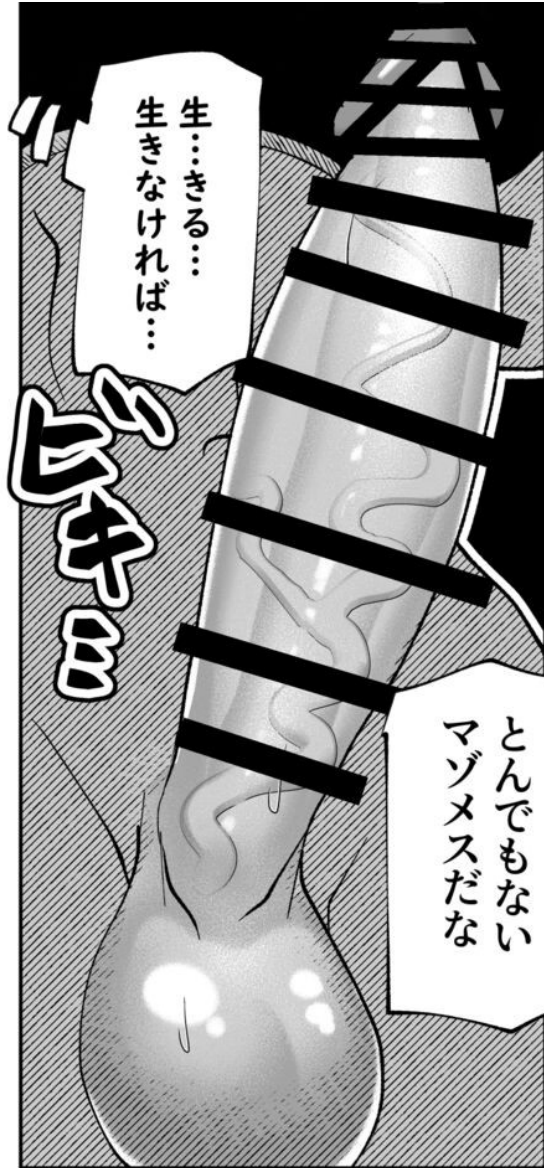
が…!?



こちらら
人類代表でね…

おぬしが
やらかしたことは
見過ごすことは
できないのだよ…





生…きる…
生きなければ…

とんでもない
マゾメスだな



ちんぽは…
生きたがってる…

みっともない…
この状況で何故尚も
大きくしている…？



ふむ…生きるため
プライドを捨て…

無様に
命乞いか



ずびばぜん…
ずびばぜん…

…ゆる…じで…
じにだぐない…

ブン

心打たれたぞ

ワシ一人が残り
いずれ人類は
滅亡する

そう……ここで
おぬしを
殺したとて

ド

サ

それでは
意味がない



ハハ



ここから

ハハ



ならば

アッ

ドキ



再び始めよう
ではないか…!

ん

子を成せ、
そして
産むのだ…!

アッ

貴様の
子を…!?

め、女神の身に
人の子を宿す
などと…

ズン

ズン

女神だからこそだ…
新たな人類の親…!

原初の女神と
なるのだ!

トン

ン

ン

ン

難しく考えるな
要はおじさんと
幸せな家庭を
築けば良い

破壊するだけの
不毛な使命など
忘れろ…

ば、馬鹿な
ことを…

おじさんが好きなだけ
おちんぽもおまんこも
気持ちよくしてやる





ああ...おぬしは
いわば不倶戴天の敵
かし...

極上のおちんぽ女子で
あることの前には
些細な問題...!!

これには
全人類も
納得...!



おぬしは
人類を
滅ぼした
責任

おじさんは
おぬしを
犯した責任

お互いに
全うするのだ！

イケッ!!

孕めッ!!



時は経ち…

あんまり
激しくしたら
赤ちゃんがびっくり
してしまうぞ…！

なあにワシと
おぬしの子だ…

これくらいの
刺激が心地
よいはず…

終